



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。
今回、ニューヨーク駐在員事務所の木立駐在員に現地の情報やビジネスについて伺いました。

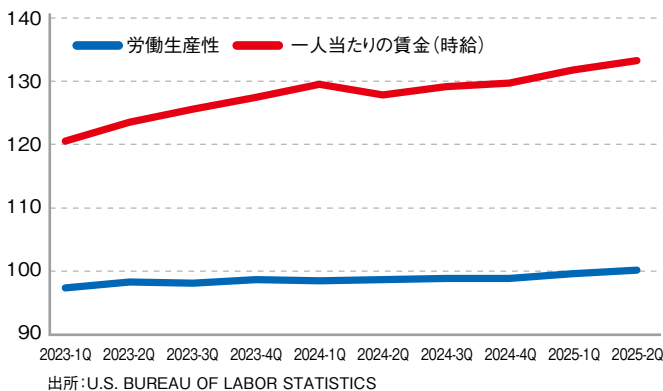
Question 1

現地の状況について 教えてください

A 米国の事業環境を読み解く上で、「関税」は引き続き重要なテーマです。大型減税政策であるOne Big Beautiful Bill Actが成立した米国にとって関税が重要な収入源となっていることから、関税政策はある程度継続されるとの見方が強く、多くのグローバル企業が生産拠点を米国内に戻すといったサプライチェーンの再編を迫られています。

しかしながら、米国内ではインフレと人件費の高騰が続いています。特に製造業では、熟練技術者の高齢化と若者の製造業離れによって、必要なスキルを持つ人材が質・量ともに不足するという深刻な課題に直面しています。現に、製造業における一人当たりの賃金（時給）は上昇しているにもかかわらず、労働生産性の伸びはそれに追いついておらず、結果として製品一つあたりの労働コストは増加傾向にあります（図1）。

図1：米国の賃金と労働生産性の推移（2017年を100とした場合）



このような状況下で、単に人手を機械に置き換えるだけでなく、テクノロジーを活用して事業全体の生産性を向上させる「自動化投資」が、多くの企業にとって待ったなしの経営課題となっています。

この自動化投資の波は、全米に広がっています。従来の自動車や半導体・エレクトロニクス産業に加え、近年ではプラスチック・ゴムやライフサイエンス・製薬・生物医学分野、その他一般製造業においてもロボットの発注額・台数が伸び

Question 2

ており、市場全体としての成長が見込まれています。

現地企業の声を聞かせて下さい

A こうした力強い需要を背景に米国でのビジネスを拡大しているのが、ものづくりの自動化・省力化、労働力の不足といった社会課題の解決に貢献する産業用ロボット・モーションコントロール・インバータ事業等を手掛ける安川電機です。同社の売上構成比において米州が占める割合は中国市場を上回る規模となっており（図2）、2025年6月には、ウィスコンシン州フランクリンに新拠点を設立し、分散していた機能を集約することを発表しました。その狙いについて、同社にお話を伺いました。

【安川電機様インタビュー】

私たちは、ウィスコンシン州に今後8年から10年かけて約1億

8000万ドルを投資し、現在イリノイ州に分散している拠点を新しいキャンパスに集約します(図3)。米国は製造業やサービス業の産業基盤が厚く、半導体などの成長分野においても大きな需要が見込めます。また、スタートアップや大学が企業と密接に連携しながら技術革新を加速させるエコシステムが形成されているのも魅力です。

今、自国生産の強化を基本と

図2: 安川電機の地域別売上収益構成比の推移

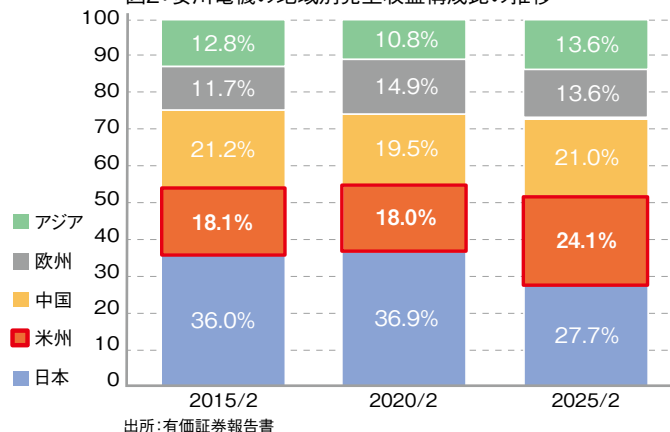


図3: 新設する本社の外観イメージ



出所: 同社ニュースリリース

した製造業の回帰の動きもあり、お客さまの現場では自動化・省力化へのニーズが急速に高まっています。このご要望に柔軟かつ迅速にお応えするため、現地での生産・販売体制を強化することいたしました。私たちが50年以上にわたる米国事業で培ってきた人材やノウハウ、そして工場のあらゆるデータをAIなどで分析・活用する独自のスマート向上コンセプト『i-Mechanics(アイキューブメカトロニクス)』の実践を通じて、生産性と品質の向上をさらに加速させます。これにより、米州

Question 3

市場での事業力を強化し、お客さまへの信頼度と満足度の向上を図りながら、米国経済の成長と発展に貢献していきたいと考えています。

**海外ビジネスを目指す
お客さまへメッセージを
お願いします**

A 政治的な要因とも絡み合い、ビジネス環境の不確実性は増していますが、人手不足という課題は日本にとっても決して他人事ではありません。米国の自動化投資の最前線を注視することは、米国進出をご検討の企業さまだけでなく、日本国内での事業展開を考える上でも多くのヒントを与えてくれるはずです。

ニューヨーク駐在員事務所では、現地のビジネス環境や最新テクノロジーの動向を調査しております。ご関心をお持ちの際は、どうぞお気軽にお声がけください。



**現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介ください**

ニューヨークの緯度は青森県とほぼ同じ。冬場は気温が氷点下になることもしばしばですが、そのなかで心を温めてくれるのがホリデーシーズンのイルミネーションです。

10月下旬、ハロウィンが終わらないうちにはやくも街なかでクリスマスの装飾が施されはじめ、公園ではマーケットやアイススケートリンクがオープンします。

他にも、のちに大統領となるトランプ氏もカメオ出演した映画の舞台となったプラザホテルや、ロックフェラーセンターの歴史あるミュージックホール「ラジオシティ」など、冬を彩るスポットが満載です。



海外展示会 セレクション

現地
おすすめの
展示会大連日本
商品展覧会

大連

Dailian

展示会概要

大連市人民政府主催による「大連日本商品展覧会」は2008年からスタートし、中国で唯一の日系企業に特化した国際的な展示会です。毎年9月頃に定期開催され、これまで日本の40余りの都道府県から約3,800社の日系企業が展示・商談に参加しています。出展企業は食品、日用雑貨、衣料製品、工芸品、服飾、建材資材、養老介護製品など広範に及びます。



トピックス

大連市が所在する遼寧省は、日本企業を誘致して発展した歴史があり、現在1,800社以上の日系企業が進出し、日本の多くの自治体(20以上)と友好都市関係を有するなど、日本との関係が非常に深い地域であるという特徴があります。直近3年の遼寧省の貿易総額を見ても日本が最大の貿易相手国となっており、中国において日本企業が参入しやすい地域だ



JETROの「健康・福祉」をテーマにしたジャパン・パビリオン



一般消費者向けの直売ブース (BtoC)

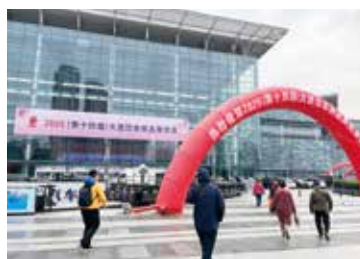
とされています。

14回目となった今回は、300社以上の企業・団体が出展し、来場者は6万人を超えました。本展覧会の特徴として、日本ブランドの商品を求めるバイヤーのみならず、展覧会情報がSNSで拡散されていることで老若男女問わず日本製品に興味のある現地消費者も数多く来場することから、テストマーケティングの観点からの出展をご検討いただいても良いかと思えます。

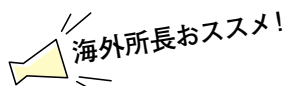
直売ブースには珍しい日本食材やお酒、健康グッズに陶器など幅広い商品が並び、多くのお客さまが次々と購入される賑やかな様子が見られました。

展示会開催情報





























名 称：大連日本商品展覧会
 開催期間：例年9月頃に3日間程度開催(本年は10月24日～26日開催済み)
 主催機関：中国国際貿易推進促進委員会大連市分会大連国際商会
 開催場所：大連世界博覧広場A、Bホール(大連市星海広場F区10号)
 その他：【入場資格】特段無し(一般消費者も入場可能)
 【出展対象】日本国の各都道府県、市町村、中日間の経済及び貿易に関連する業務に従事する日系企業、団体、メーカー、その他
 【商談対象】中国大連市、東北地方及び環渤海経済圏、その他各省(市、区)の関係企業、バイヤー、一般消費者
 ※詳細は主催者へ直接お問い合わせください。



本展示会の会場入り口



海外現地展示会一覧

	カテゴリー 主要商材	イベント名	開催期間 過去出展数/来場数	イベント概要	公式 サイト
香港 Hong Kong 	産業 文房具・雑貨	Hong Kong International Stationery and School Supplies Fair 2026 (HKCEC)	2026年1月12日～15日 2,600社以上/ 83,000人	「香港国際文房具・学校用品見本市」は、文房具、オフィス用品、筆記用具に特化した権威ある見本市。これらの業界におけるアジアで最も重要な仕入れプラットフォームの一つと見なされており、2,600社以上の出展者が参加する大規模なイベント。	
	産業 ベビー用品	HKTDC Hong Kong Baby Products Fair 2026 (HKCEC)	2026年1月12日～15日 2,500社以上 (34ヵ国) / 26,516人	授乳・育児用品、ベビーカー・ギア、寝具・家具、ODMベビーカーなど、新生児向けの基本アイテムからマタニティ用品まで幅広く網羅したアジア最大級の展示会。前回は世界34の国と地域から2,500以上の出展者が参加し、最新のベビー用品、革新的な文具、斬新なおもちゃなどが出展され毎年開催。	
	産業 エレクトロニクス	HKTDC Hong Kong Electronics Fair (Spring Edition) 2026	2026年4月13日～16日 2,300社以上 (20ヵ国) / 53,149人	本展示会は、世界有数のエレクトロニクス市場として認知されている展示会。各パビリオン毎にジャンルが分かれ、主な展示品は5G・AIoT、スマートホーム、ロボティクス、モバイルアクセサリをはじめ、バーチャルロボット、健康デックなども展示。また、主催者である香港貿易発展局のオンライン商談プラットフォームにより、展示会後も出展者との連携が可能。	
上海 Shanghai 	ホテル・飲食 食品関係	HOTELEX Shanghai 2026	2026年3月30日～4月2日 3,826社/284,581人	本展示会は、中国のホテル・飲食業界向け機器・資材・食材・サービスを一堂に集めたプロ向けの展示会。厨房機器、テーブルウェア、コーヒー&ティー、ペーカリー、アルコール飲料、フランチャイズ事業など幅広い分野をカバー。	
	産業 プラスチック、ゴム関連	CHINAPLAS 2026	2026年4月21日～24日 4,616社/281,206人	世界最大級のプラスチック・ゴム産業展。成形機械や高機能樹脂、リサイクル・バイオ素材、スマート製造技術など最先端ソリューションが集結。脱炭素・循環経済に向けた革新技術交流の場となる。	
	医療・健康 ヘルスケア	CHINA AID 2026	2026年6月4日～6日 519社/76,591人	上海民政局と上海国際貿易推進委員会が主催する中国最大規模の介護福祉展示会。日本からも自治体、企業の多くが出展。高齢者産業の需要増加に伴い、注目度の高い展示会となっている。	
大連 Dalian 	その他 アウトドア製品	ISPO Beijing 2026	2026年1月9日～11日 500社/30,000人以上	アジアの重要なプロスポーツ貿易プラットフォームで様々なカテゴリーが集う見本市。アウトドアスポーツ、ウィンタースポーツ等におけるスポーツテクノロジー/新素材、キャンプライフとアーバンスポーツの国内外の有名ブランドが一堂に会する。	
	その他 ギフト・雑貨	Gifts & Home Beijing 2026	2026年3月26日～28日 900社/39,139人	華北地域におけるギフトおよびホームプロダクトの販路開拓において20年の実績を誇る中国華北地域におけるフラッグシップイベント。新製品が北京に集結し、高品質なギフトサプライヤー、最新デザイン、そして最先端の業界トレンドが一堂に会する。	
	産業 HVAC関連製品	ISH China & CIHE 2026	2026年3月31日～4月2日 1,030社/77,468人	本イベントは、「HVAC(暖房・換気・空調)ソリューション」「エネルギーソリューション」「水ソリューション」「コンフォートソリューション」「設置とインテリジェンス」の5つの主要分野において、包括的なソリューション、将来の技術トレンド、そして新たな開発機会を展示。参加者には新技術や市場動向に関する貴重な知見を提供する展示会となる。	
台湾 Taiwan 	趣味・教育 ギフト・文具	台湾国際クリエイティブギフト&文具見本市 (DG Taiwan)	2026年4月16日～19日 299社/12,308人	台北世界貿易センターが主催するギフトや文具に関する展示会。前回は世界12ヵ国から参加。商品だけでなく、ブランドライセンス、製造、デザインリソースといったサプライチェーン企業が出展。流通業者、EC、百貨店のバイヤーも多数参加する。	
	農林水産・食品 酒類	2026 台北国際酒展. 純酒展	2026年4月18日～21日 300社/40,000人	台湾の酒類専門展示会の中で食品や観光など他産業とは合同開催しない唯一の大規模展示会。開催歴は20年超で、台中、台南、高雄でも別時期に開催している。参加者は酒類メーカーやバイヤー等酒類ビジネスに関わる来場者が中心。	
	情報 AIoT	COMPUTEX TAIPEI 2026	2026年6月2日～4日 1,500社/約85,000人	中華民国対外貿易発展協会 (TAITRA) と台北市コンピューター協会 (TCA) が主催する台湾最大のAIoTに関する展示会。160ヵ国以上のバイヤー及び業界関係者に加え、エヌビディアやインテルなどの半導体大手企業等も多数参加。	
タイ Tai 	農林水産・食品 食品関係	JAPAN SELECTION 2026	2026年1月28日～29日 約50社/約3,000人	タイ現地の大手バイヤーが集結する日本産品のB2B総合見本市。農林水産品をはじめ、食品機械、IP(キャラクター)、インパウンド、伝統工芸品、化粧品など、日本製品の輸出拡大を目指す。物流や現地販売許可の取得もサポート、初めての海外展開でも安心して参加可能。	
	自動車 自動車関連部品	Bangkok International Motor Show 2026	2026年3月25日～4月5日 50社以上/1,600,000人	ASEAN地域最大級の国際モーターショー。最先端の自動車技術、自動車、オートバイ、アクセサリなどが展示される。日本の展示会と異なり新車をその場で購入可能。	
	産業 機械・技術	Manufacturing Expo 2026	2026年6月17日～20日 約2,000社/約88,445人	生産ラインの効率性向上、コストの削減等を目指す製造業向けのイベント。プラスチック製造技術、金型、自動車部品製造機械、自動化および組立技術、表面およびコーティングソリューションの技術を有するブランドが、約30ヵ国から出展。	
ベトナム Vietnam 	産業 工業製品	VIMF 2026 - Vietnam Industrial & Manufacturing Fair	2026年4月15日～17日 200社/8,365人	大規模な工業団地や多くの多国籍企業が拠点を置く主要な産業・物流拠点であるハイフォンにて開催される製造業の見本市。金属加工品から3Dプリンター・スキャナー等、幅広い分野の展示が予定されている。	
	産業 塗料	Coatings Expo Vietnam 2026	2026年6月10日～12日 306社/6,832人	11回目を迎える本展示会は、ベトナムおよび周辺地域における塗料・カラー・スペクム・印刷インキが展示される予定。当該事業者の貿易を促進し、長期的なパートナーシップを育む、主要なビジネスプラットフォームとしての役割をさらに強化する見込み。	
	趣味・教育 ギフト・文具	VietOffice Expo 2026	2026年7月30日～8月1日 150社/5,850人	「文房具」「オフィス機器」「オフィス家具」「スマートオフィスソリューション」「教育関連」「オフィスアクセサリ&装飾品」など、多彩で創造的な展示エリアを提供し、文房具・オフィス業界における最新トレンドを発見・導入するためのインスピレーションを企業に提供します。	
シンガポール Singapore 	機械 航空関連機械など	Singapore Airshow 2026	2026年2月3日～8日 1500社以上/約50,000人	2年に1回開催されるアジア最大級の航空・宇宙関連(民間機、ビジネスジェット、ヘリコプター、軍用機など)の展示会。世界各国の政府高官や軍関係者、企業の上級幹部が集結。	
	機械 航空関連機械など	APM 2026 Asia Pacific Maritime	2026年3月25日～27日 710社/15,717人	2年に1回開催される海事業界(造船(船舶、作業艇)、海洋土木、港湾テクノロジー等)の展示会。日本からは日本海事協会(NK)を中心に船舶関連の部品・塗料メーカーなどで構成されるジャパンパビリオンが出展。	
	その他 食品、飲食業、サービス業	FHA 2026 - Food & Hospitality Asia	2026年4月21日～24日 約800社/約32,000人	食品、フードサービス、ホスピタリティ機器・用品の展示会。2025年は4月に「FHA 2025 Food & Beverage」という名称で食品と飲料に特化した内容で実施された。次回2026年は近年別日程で開催されていた食品およびホスピタリティ業界向けの見本市を統合し、大規模に開催予定。	

その他海外の展示会情報は、こちらのJETROサイトをご参照ください。

